

一般質問



初めての買い物ツアーを実施しました

高齢者の助け合い隊の支援について

質問(五十嵐孝夫議員) 高齢者見守り助け合い隊について伺います。

答弁(市長) 平成二十一年度厚生労働省から地域福祉推進市町村の指定を受け、黒羽地区をモデル地区に指定し、平成二十二年三月十六日に黒羽見守り助け合い隊を発足させました。

見守り助け合い隊の活動に当たっては、黒羽地区十三自治会から見守り活動に参加していただける隊員を募集するとともに、見守り活動等において、要支援者等の同意のもとに、要支援、要支援者情報を地図上に落とし、見守り活動参加者間の情報の共有化を図りました。また、社会福祉協議会や国際医療福祉大学学生ボランティア等の戸別訪問により、要支援者の個別ニーズの把握を行い、その結果に基づいて隊員による必要な見守り活動等を実施しております。

見守り活動においては、要支援者の近辺で接する見守り隊員が声かけなどによる安否確認、粗大ごみの搬出のお手伝い、あるいは高い場所の電球交換等の日常の見守り活動を行うとともに、本年十一月五日には市職員、社会福祉協議会職員及び国際医療福祉大学学生ボランティアが随行をして、黒羽見守り助け合い隊要支援者二十六人が参加をした初めての買い物ツアーを実施いたしました。参加者は、自分で買い物を行ったという精神的なやすらぎを体験しております。

平成二十二年度は新たに佐久山地区をモデル地区に追加をし、来年早々の組織化に向けて事業を進めております。

大田原赤十字病院移転に伴うアクセスについて

質問(篠崎博議員) 大田原赤十字病院移転に伴う交通アクセスについて伺います。

答弁(建設部長) 大田原赤十字病院が中田原工業団地へ移転し、新病院としての開院は平成二十四年七月に予定されております。この移転に伴い、来院者が相当数見込まれることや、医療に関連する店舗や事業所等がこの周辺地域に進出することが想定されることから、中田原工業団地への通行量は大幅にふえることは確実に

あります。

この状況を考えますと、工業団地内へのアクセス道路の整備は重要であり、急務であると認識しております。現在工業団地内への新たなアクセス道路の整備として、市道内環状北大通り線から市道町島上深田線の区間、延長六四〇メートル、幅員十二メートルの道路、市道名は中田原那須塩原駅線となりますが、この道路の整備が完了し、信号機が設置次第供用開始の予定となっております。

す。この新たな道路の開通により、那須塩原市、東那須野地区方面からのアクセスがよくなり、利便性が増すものと期待しております。

また、那須町方面からのアクセス道路として、主要地方道大田原芦野線から中田原工業団地へつながる新設道路の整備につきましまして、大田原赤十字病院の開院後の大田原芦野線、富士電機わきの道路の通行量及び工業団地内の区画道路であります市道中田原二号、三号、四号線の交通状況を見きわめて対応してまいりたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。



アクセス道路の整備を進めています